

日本メンデル協会 第3回大会（柏）のご案内



ご挨拶

日本メンデル協会は、イメージング、顕微鏡技術、分子生物学、バイオインフォマティクスなど多様な研究手法を駆使し、細胞学、細胞遺伝学、細胞生物学を含む細胞科学および遺伝学の分野における幅広い生物の研究発表を支援しています。このたび、第3回大会を東京大学・柏キャンパスにて開催する運びとなりました。本大会では、会員同士の親睦を深め、学術研究の発展を促すことを目的として、宿泊地にて懇親会を開催いたします。また、エンドウマメを研究材料にしたメンデルにちなみ、キッコーマンもの知りしょうゆ館を見学するエクスカージョンも企画しました。本大会が細胞遺伝学の新たな地平を切り拓き、皆様の研究のさらなる発展の契機となることを期待しております。

日本メンデル協会第3回大会実行委員会 大会会長：松永幸大（東京大学）

実行委員長：風間裕介（福井県立大学） 実行委員：丸山真一郎（東京大学）、松永朋子（東京大学）

1. 大会開催期間 2026年6月18日（木）～19（金）

発表登録：2026年4月6日（月）～5月22日（金）

懇親会およびエクスカージョン参加登録：2026年4月6日（月）～5月22日（金）

参加登録（ポスター発表なし）：2026年4月6日（月）～6月12日（金）

受付期間中に下記より大会参加申し込みをお願い致します。

<https://forms.gle/5DLeTsmkK1piKxM17>

右側のQRコードからもアクセスできます。



2. 会場 東京大学 柏図書館 メディアホール 〒277-8562 千葉県柏市柏の葉5-1-5

交通アクセス <https://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/access/>

柏図書館 https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam03_04_04_j.html

- ・つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅下車、西口より西柏03・04・10に乗車
「東大前」で下車（約12分）、駅から徒歩の場合は30分
- ・東武アーバンパークライン 江戸川台駅下車、東口より西柏03・04に乗車
「東大前」で下車（約10～15分）、駅から徒歩の場合は、25分

3. 大会参加費、懇親会費、エクスカージョン参加費

（1）大会参加費

会 員	正会員：3,000円	学生会員：1,000円
非会員	一般：4,000円	学生：2,000円

(2) 懇親会参加費

一般：6,000円 学生：3,000円

宿泊は各自ご予約ください。柏の葉キャンパス駅、流山おおたかの森駅周辺にホテルがあります。

4. プログラム

6月18日 (木)

12:00 大会受付 (東京大学・柏キャンパス図書館・メディアホール前)、ポスター設置開始

大会参加費と懇親会参加費をお支払いの上、ネームカードをお受け取りください。

日本メンデル協会入会も同時に受け付けております。入会もぜひご検討ください。

早めに到着された方は談話室がございますので、おくつろぎください。

12:30～13:30 評議員会 (東京大学・柏図書館・会議室)

休憩

13:40～14:10 総会・表彰式 (東京大学・柏図書館・メディアホール)

休憩

14:20～15:50 受賞講演 (東京大学・柏図書館・メディアホール)

14:20～14:45 奨励賞受賞者 廣岡俊亮 (国立遺伝学研究所)

「強酸性環境に生きる藻類の適応戦略と生活環」

14:45～15:10 奨励賞受賞者 竹下毅 (東京大学)

「微細藻類の物質生産と育種に関する研究—サイエンスとベンチャーの両立を目指して—」

15:10～15:30 和田賞受賞者 日詰雅博 (愛媛大学)

休憩

15:40～16:50 一般講演 (ポスター発表者より一般会員5名選出)

16:50～17:00 集合写真撮影

17:00～18:30 ポスター発表 (東京大学・柏図書館・メディアホール前)

奇数番号発表17:00～17:45 偶数番号発表17:45～18:30

18:40～20:00 懇親会 (東京大学・柏キャンパス・プラザ憩い)

6月19日 (金)

9時開場

9:15～11:00 第20回メンデル講演会シンポジウム 「生物種が生まれるとき」

9:15～9:40 丸山真一郎 (東京大学)

「超個体的環境錬成作用による斬新な光共生システムの爆誕」

9:40～10:05 吉田大和 (東京大学)

「新規遺伝子の創出がもたらす生命機能の革新」

休憩

10:10~10:35 水多陽子 (奈良先端技術大学大学院)

「被子植物の繁栄を支える花粉の発生と分化のメカニズム」

10:35~11:00 佐藤豊 (国立遺伝学研究所)

「メタボローム変化から見るイネ属の異質倍数化と新種形成」

11:00~11:15 ポスター賞授賞式

11:20 解散

エクスカーショ参加者の荷物預かり

5. ポスター発表

ポスター発表の中から、実行委員会の推薦により口頭発表をお願いする場合があります。A0サイズ (841mm × 1189mm) 以内のポスターをご用意ください。当日は、会場で準備しております画鋸をご使用の上、指定の番号のボードに16時までにポスターをお貼りください。発表時間は奇数番号 17:00-17:45、偶数番号17:45-18:30です。ポスター演者氏名の前に○をつけてください。ポスターは6月19日 (金) の11時30分までにボードから剥がして、発表者各自でお持ち帰りください。優れたポスター発表をした若手発表者 (学生から・ポスドク・助教まで) の中から、数名にポスター発表優秀賞を授与いたします。

6. エクスカーション

キッコーマンもの知りしょうゆ館 (<https://www.kikkoman.com/jp/shokuiku/factory/noda/>) でしょうゆの製造工程を見学します。**入館料は無料**です。国内の方も外国の方にも大好評な見学会です。参加ご希望の方は、**学会参加登録時に必ずエクスカーション登録**をお願いします。大豆・小麦アレルギーの方、当日飲酒後の方は入館できませんのでご注意ください。

11:50 東大・柏キャンパス発 スクールバス (荷物は大会実行委員会が預かり)

12:00 柏の葉ららぼーとで各自昼食

13:13 柏の葉キャンパス駅出発 (13:16-20 流山おおたかの森駅で乗り換え)

13:36 野田市駅到着、徒歩約3分

13:45 キッコーマンもの知りしょうゆ館 (野田工場) 集合

14:00 工場見学開始

工場で製造されたばかりのキッコーマン生醤油を全員にプレゼント。お土産物コーナーでは工場限定販売の宮内庁御用達の御用蔵醤油や特別使用醤油が購入できます。当日、ここでしか食べられない「しょうゆソフトクリーム」も絶品です。ぜひご賞味ください!

15:00 工場見学終了 解散 (荷物を大会実行委員会より返却)

7. 大会に関する問い合わせ先

〒277-8562 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大学院新領域創成科学研究科

日本メンデル協会第3回大会実行委員 松永朋子 t_matsunaga@edu.k.u-tokyo.ac.jp

8. 日本メンデル協会入会のお誘い

日本メンデル協会の正会員:会費は年9,800円です。なお、正会員であっても、学生、ポスドク(PD)、退職者は申し出れば会費を2,000円に減額します。

正会員は、学術誌CYTOLOGIAに投稿し、審査を通過すれば1年間に2回までは無料で論文を掲載することができます。また、日本メンデル協会通信を無料で受け取ることができます。

大会後に入会を希望される場合は、下記までご連絡ください。

日本メンデル協会事務局 林 依子

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-2 エポック本郷

TEL:03-3814-5675 FAX:03-3814-5352

E-mail: isc-mendel-cytologia@edu.k.u-tokyo.ac.jp

9. 学術誌CYTOLOGIAへの投稿のお願い

CYTOLOGIA (キトロギア) は、原著論文、レビュー、フォーカス、テクニカルノートなどを掲載する英文学術誌です。原著論文はサーキュレーションがいいのが特徴です。フォーカスはキトロギアに焦点をあてた短いレビュー、テクニカルノートは大扉とペアの2ページの短報です。テクニカルノートに掲載が決まると原稿料を差上げます。大扉はキトロギアの表紙も兼ねていて、キトロギアが扱う代表的な分野とその時々最新の話題が表紙になります。

キトロギアは、科学技術振興機構(JST)の採用する電子投稿査読システム Editorial Manager[®]を新たに導入、世界共通のプラットフォームでストレスレスな投稿、丁寧で親身な審査に加え、迅速な編集・出版を可能にしました。そして、細胞遺伝学と細胞学に加え、核型解析、ゲノム科学、系統分類や生態学的などの最新成果を掲載して出版しております。詳しい投稿方法は英語版の“[Instructions to Authors](#)”に右側のQRコードからアクセスしてご覧ください。



10. 学術誌CYTOLOGIA最新号のご案内

日本メンデル協会にご入会いただき、キトログアに論文原稿を投稿してください。キトログアの最新号のHPトップページを下記に記します。右のQRコードからも最新号を閲覧できます。



CYTOLOGIA

International journal of cytogenetics and cell biology since 1929

From The Japan Mendel Society

- Journal Information
- Author Instruction
- Submit Manuscript
- Archive
- About Us

>> This Issue

Technical Note
In situ detection of γH2AX in developing Arabidopsis anthers by whole-mount immunofluorescent chemistry
 Histone H2AX is one of histone H2A subtypes.
 See [Takagi, K. \(2025\) Cytologia 90, 201-202](#).

>> [Cover Photo Gallery](#)

Focus
Mendel's Grapevine: Brno to Koishikawa and back again
 See [Nagata, T. \(2025\) Cytologia 90, 203-206](#).

Current Articles

Regular Article

Karyotype analysis and taxonomic insights of *Cirsium* (Compositae) in Taiwan
 See [Chang, C.-Y. et al. Cytologia 90, 207-219](#).

Regular Article

Meiotic behavior and chromosomal irregularities in two *Tradescantia* L. species
 See [Ferdous, H. et al. Cytologia 90, 221-225](#).

Regular Article

Discovery of a novel *CYP76AD1-DODA1* gene cluster associated with betalain pigmentation in quinoa
 See [Kushino, S. et al. Cytologia 90, 227-238](#).

Regular Article

The expression and localization patterns of BRAHMA, a core component of the SWI/SNF chromatin remodeling complex
 See [Horie, A. et al. Cytologia 90, 239-244](#).

Regular Article

Microsporogenesis and reduced fertility in Algerian populations of *Hordeum bulbosum* L. (Poaceae)
 See [Djafri-Bouallag, L. et al. Cytologia 90, 245-253](#).

Regular Article

Aneuploidy and chromosome number variation in the genus *Impatiens* from the riparian habitats of the Beas River, Himachal Pradesh, India
 See [Thakur, N. et al. Cytologia 90, 255-265](#).

Karyotype Report

New chromosome counts from crozier tips of *Dipazium esculentum* (Retz.) Sw.: A promising strategy in fern cytology
 See [Gayathri, T. S. et al. Cytologia 90, 267-269](#).

Karyotype Report

Cytological study of the genus *Aspidistra* Ker-Gawl. from Guangxi, China II
 See [Zhou, M.-J. et al. Cytologia 90, 271-274](#).